

つばさ

地域の皆さまに信頼される病院として
安全で質の高い医療を提供します。

独立行政法人地域医療機能推進機構
神戸中央病院
〒651-1145
神戸市北区惣山町 2 丁目 1 - 1
TEL 078-594-2211
FAX 078-594-2244
<http://kobe.jcho.go.jp/>

新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。

いよいよ平成最後の年を迎えました。当院を含む全国の JCHO 病院グループとしては、4 月から第 2 期中期 5 か年計画がスタートします。まだ明確にはされていませんが発足当初から目標としている「地域包括ケアの担い手になる」というスローガンは継続されるはずですが、当院としては地域の中核病院でもある立ち位置から、救急医療に軸足を置きながら包括ケア病棟・訪問看護ステーション・老人保健施設といった附属施設をより一層有機的に結び付けて、模範となる地域医療体制を築いていきたいと願っています。

神戸市北区では高齢者はますます増加の一途ですが、若い人に比べ自身の健康に対する認識の低さが懸念されます。今年からそのような高齢者を対象にした、がん検診を比較的予約枠に余裕のある冬季に、受けやすい価格で提供して早期発見に結び付けたいと考えています。非侵襲的でより精度の高い診断を可能にする 3 テスラーの MRI も近々に稼働開始予定です。地域住民の皆様の健康寿命をできる限り伸ばせる体制を、永続可能な形で構築してゆく覚悟です。これは当院だけでは実現困難です。北区の医療機関が協力し合って目的達成のため協力することが大切です。ワールドカップが日本で開催される今年、ラグビーだけじゃない One for all, all for one の精神で新しい年を迎えましょう。

本年が皆様方にとり、幸多い一年となりますようお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



近隣医療機関のご紹介

いでいクリニック

〒651-1123 神戸市北区ひよどり台3丁目11-2 TEL 078-747-5501

診療科目：
胃腸科、外科、
肛門科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:15	●	●	×	●	●	●	×
16:00~19:00	●	●	×	●	●	×	×



出射秀樹 先生



笹山医院を継承し、2008年1月より、ひよどり台で診療を行っています。私が目指すのは、「地域の皆さまに信頼されるかかりつけ医」です。

内視鏡検査や怪我の治療も当然行っていますが、消化器疾患や外科の疾患に限らず、高血圧症や糖尿病などの生活習慣病から風邪まで、かかりつけ医として疾病・健康に関するトータルなサポートをしています。

当院ではできない詳しい検査や治療が必要な時には、JCHO神戸中央病院をはじめとする連携病院に躊躇なく紹介し、御支援頂いています。

患者さん1人ひとりの健康上の悩みや不安に真摯に向き合い、納得いただいたうえで治療を受けていただけるよう、わかりやすい、丁寧な説明を心がけています。

これからも、さらに地域医療に貢献していきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。



70歳以上の方

(平成30年8月診療分から)

高額療養費の上限金額が変わりました。

高額療養費とは

ひと月に支払う医療費が高額になった場合にお支払いいただく額を、決められた上限額までにとどめる制度です。上限額は個人もしくは世帯の所得に応じて決まっています。

平成30年7月まで			平成30年7月から			
区分	算定基準額		区分	算定基準額		
	外来	入院 (高齢者世帯合算)		外来	入院 (高齢者世帯合算)	
現役並み	57,600円	80,100円 + (医療費-267,000円) × 1% (多数: 44,400円)	Ⅲ 標準報酬月額 83万円以上	252,600円 + (医療費-842,000円) × 1% (多数: 140,100円)		→
		Ⅱ 標準報酬月額 53~79万円	167,400円 + (医療費-558,000円) × 1% (多数: 93,000円)			
		Ⅰ 標準報酬月額 28~50万円	80,100円 + (医療費-267,000円) × 1% (多数: 44,400円)			
一般	14,000円	57,600円 (多数: 44,400円)	一般 (自己負担額が2割の者)	18,000円	(変更なし)	

※住民税非課税世帯の方については、変更ありません。

今般の改定により「現役並み所得区分Ⅰ・Ⅱ」に該当される高額な療養を継続的に受けている70歳以上の被保険者及び被扶養者については、限度額適用認定証の交付を受ける必要がありますので留意願います。

●高額介護合算療養費制度の見直し● 高額療養費制度の改定に伴い、高額介護合算療養費についても改定されます。ご不明な点は、ご加入の保険者までお問い合わせください。

年男ご紹介



松本 圭吾
：脳神経外科

明けましておめでとうございます。当院に赴任して早や18年になるうとしています。「猪突猛進」の年代は過ぎ、そろそろ、自分の健康にも留意しつつ、さらに地域医療に貢献できればと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。



大杉 修二
：呼吸器内科

あけましておめでとうございます。呼吸器内科の専門医として一度干支が一回りしました。これから新たなスタートの気持ちで日々の診療に当たりたいと思っています。本年もよろしくおねがいします。



藤田 悠司
：外科

新年おめでとうございます。当院に赴任して、9ヶ月が経ちます。これからも地域の皆様が安心して治療をうけて頂けるよう日々精進して参ります。御指導御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

トモシンセシス機能付きの最新マンモグラフィ撮影装置を導入

当院では機器更新により、昨年1月に最新鋭のマンモグラフィ装置（富士フィルム社製 AMULET Innovality）を導入いたしました。マンモグラフィ検査では、数 μ m単位の微細な石灰化の形状や分布により、診断のカテゴリー分類（病気の状態）が異なります。本装置は高精細な画像により、微細な石灰化の形状まで容易に観察でき、より正確な診断が可能となります。



放射線科 部長
岡本 将裕



また、今話題のトモシンセシス撮影機能も搭載しています。

トモシンセシス撮影とは、X線管球を移動しながら連続的に低線量でX線を照射します。複数の位置から撮影した画像を再構成して3Dデータを作成することで目的の構造にスライスを合わせた画像を提供することができ、乳腺構造の重なりにより発見が難しかった病変の観察が可能になります。

さらに、患者様がご心配される被ばく線量は、通常の2D撮影で約1mGy、2D+3Dで2mGy以下となっており、従来装置に比べて軽減され、最新のガイドラインの基準もクリアーしています。（4cmPMMAファントム撮影時、3Dは高速撮影モード使用の場合）

安心の女性技師による撮影で、安全で精度の高い本装置を用い、患者様の負担の少ないマンモグラフィ検査を提供させていただけるよう心がけていきたいと思っております。

次回
予告

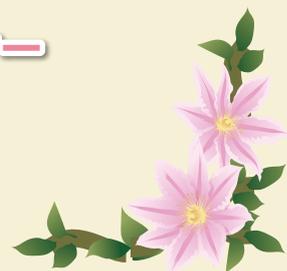
第15回JCHO神戸中央病院 市民医療セミナー

テーマ：「消化器疾患の最新治療」（仮題）

日時：2019年6月15日（土）

場所：すずらんホール（神戸市北区鈴蘭台西町1丁目26-1）

担当：消化器内科・消化器外科





心房細動へのカテーテルアブレーション治療と再発

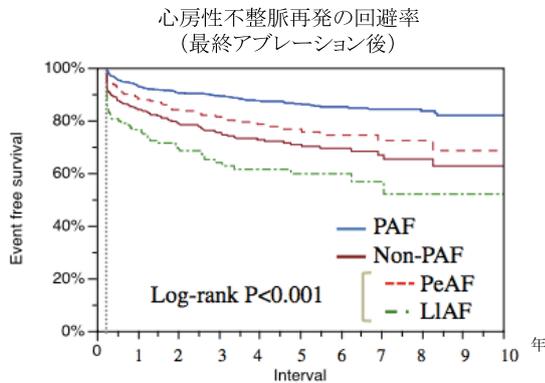
平成30年5月より、神戸中央病院では不整脈の治療としてカテーテルアブレーション治療を再開しました。2018年12月25日現在で48名の患者さんに治療をさせていただきました。そのうち36名は心房細動の患者さんです。

心房細動は60歳を超えると急激に罹患率が高くなる不整脈です。症状は様々ですが、症状がないからと放置して良い不整脈ではありません。脳梗塞の原因となり、また長い経過のなかで心不全につながります。現在、洞調律を維持している人よりも心房細動の人の方が脳梗塞発症率、死亡率が高く、心房細動に対してカテーテルアブレーション治療が有効であることがわかっています¹⁾。

心房細動に対してのカテーテルアブレーション治療は完治を望める治療ですが、100%ではありません。現在、再発リスク因子が注目されています。まず、アブレーションを受ける時点で持続性心房細動の人は発作性心房細動の人よりも再発率が高くなります²⁾。アブレーションを受けるのであれば発作性心房細動の間に受けることがお勧めです。そして睡眠時無呼吸症候群(SAS)は再発のリスク因子の一つと考えられています。2018年のメタ解析でCPAP治療を行っていない無治療のSAS患者さんではCPAPを行っているSAS患者さんよりも有意に再発率が高いと報告されています³⁾。さらに閉塞性のSAS(OSAS)の場合はCPAPを行っている患者さんはもともとOSASのない患者さんと同じ程度にリスクが軽減すると報告されています⁴⁾。また、肥満患者さん(BMI>30)ではアブレーション後の運動が非常に重要であるとの報告があります⁵⁾。日本ではBMI>30という患者さんは少ないですが、肥満の方は再発予防のために運動が重要ということは注目すべき点です。その他、女性、高齢患者さん、もともと冠動脈疾患がある患者さんは再発率が高いという報告、さらに左房の大きさ、アブレーション前に無効だった抗不整脈剤の数なども再発リスク因子として報告されています⁶⁾。以上のように、再発リスク因子は様々なものがあります。中には医療者側からの働きかけだけでは達成できない項目もあり、患者さん御本人の努力が必要になるものもあります。患者さんの疾患に対する理解が重要です。

心房細動は様々な問題を引き起こす、非常に厄介な不整脈です。その治療には医療者と患者さんの双方の信頼と協力が必要と感じています。当院では地域の先生方、患者さんに信頼していただける不整脈治療を心がけております。コントロールの難しい患者さんがおられましたら、いつでもお気軽にご相談ください。

心房細動は様々な問題を引き起こす、非常に厄介な不整脈です。その治療には医療者と患者さんの双方の信頼と協力が必要と感じています。当院では地域の先生方、患者さんに信頼していただける不整脈治療を心がけております。コントロールの難しい患者さんがおられましたら、いつでもお気軽にご相談ください。



PAF:発作性心房細動 Non-PAF:発作性心房細動以外
PeAF:持続性心房細動 LIAF:長期持続性心房細動

International Journal of Cardiology 249 (2017) 204-213

- 1) Lief F., European Heart Journal (2016) 37, 2478-2487
- 2) Tetsuma K., International Journal of Cardiology 249 (2017) 204-213
- 3) Deng F., Sleep Med. 2018 Jun;46:5-11.
- 4) Weerasooriya R., Europace. 2014 Sep;16(9):1309-14.
- 5) Rajeev K., JACC VOL. 66, NO. 9, 2015 SEPTEMBER 1, 2015:985-96
- 6) Roger A., Heart Rhythm, Vol 13, No 11, November 2016

第11回「神戸市北区医師会・JCHO神戸中央病院 医療連携セミナー」のご案内

テーマ:「血液内科」と「緩和ケア」の診療の現在 in JCHO 神戸中央病院

日時:2019年2月21日(木)19時～ 場所:当院 2階会議室



医療機関の先生方へ

時間外受診のお知らせ

時間外(17時~8時30分)・年末年始・土・日・祝日の緊急のご紹介は、**078-594-2211 (代)**にお電話いただき救急外来をご指示ください。

救急外来のFAX番号は、**078-594-2255**です。事務職員が対応いたします。